

船場のいとさんが通う花嫁学校としても使われていた
多くの人に愛されるコミュニティビルの存在

芝川ビル



個性的な外観で、オフィス街の中でも存在感を放っている。芝川家は江戸時代からこの地に店を構えてきた。南米のマヤやインカの遺跡を連想させる濃厚なデザインには、鉄筋コンクリート造のビル建設に踏み切った当主・芝川又四郎の意向が強く反映している。自家用として建てられ、戦前期には「芝蘭社家政学園」という花嫁学校としても使われた。現在はビルの雰囲気を生かしたテナントが多く入居。地下の金庫室を改装したカフェや、さまざまなイベントに用いられる屋上テラスなど、その使われ方においても、その個性によって地域に貢献している。（倉方俊輔）

所在地：大阪市中央区伏見町 3-3-3

建設年：1927年

構造・規模：RC造4階、地下1階

設計：（基本設計及び構造設計）澁谷五郎、（意匠設計）本間乙彦